

# 中国の高齢化社会への対応

## 空巢老人に対する支援における

### 都市部の社区の役割と課題

ZHANG Lingyu

中国の高齢化社会は高い高齢者人口の割合がより早いスピードで形成し、人類史上にも稀に見ると言われ、「高齢者の増加率が高く、高齢化のスピードが急速である」という特徴がある。2010年の国勢調査では65歳以上人口が1億1890万人となり、高齢率も8.9%まで上昇している。約1億2000万人という高齢者数は日本の高齢者人口の約4倍にあたり、ヨーロッパ全体の高齢者人口総数にも匹敵する数である。中国の人口高齢化に関する予測が国家人口・計画出産委員会から提出されているが、それによれば2020年には65歳以上高齢者人口が1億6900万人で高齢率11.6%となり、2050年には3億2400万人、22.6%に達するとされている。

そして、2012年に発表された日本と中国による国際共同プロジェクト『中国人口高齢化一進行の趨向、経済への影響及び対策』（内閣府経済社会総合研究所）によれば、一人っ子政策の実施、核家族によって家族の規模が小さくなり、高齢者夫婦のみや空巢家庭が増える一方である。現在、中国都市部における空巢老人の比率は49.7%に達しており、農村部でも38.3%となっていると報告された。

こうした状況を背景にして、高齢者扶養・介護問題が中国社会において注目されるようになった。政府は、一連の高齢者・独居老人の介護福祉政策を打ち出し、2000年以降、その政策の方向性が「家族中心の介護」から「高齢者扶養の社会化」へと転換し始めた。そこで注目されたのが、空巢老人に対する支援における都市部の社区の役割と課題である。

急速に進む高齢化と35年間続いた「一人っ子政策」の影響による現代中国の家族介護形態の変化のなかで、都市部における高齢者ケアに大きな役割を果たしている「社区」と呼ばれる半

官民自治組織に焦点を当て、既存政策と事例研究を通じて「空巢老人」問題が現実的にどのように対処されているか、社区は高齢者ケアにおいて実際にどのように運営されているのか、在宅生活を続けたい空巢老人に対する生活支援において、果たしている役割と存在している課題を考察することを目的とする。

そこで、中国河北省に位置する地級市である唐山市の路北区民政局高齢者事業の責任者と各社区居民委員会の責任者・ボランティアなどの関係者、計 11 名にインタビュー調査を行った。調査内容は、①社区居民委員会の概要②社区居民委員会が提供する高齢者在宅サービスの内容③社区における高齢者(とくに空巢老人)在宅サービスの課題である。調査の結果としては、まず、社区居民委員会によって提供される空巢老人在宅サービスの内容について、を明らかにした。

次は、高齢者の階層によって生活支援は大きな違いが存在し、社区居民委員会は空巢老人全体の状況が把握でき、サービスを提供しているわけではなく、主に空巢老人のうち、「収入がない、就労していない、扶養者がいない、家族全員の平均月収が最低生活保障以下などの経済的理由、介護が必要という身体的理由から判断する」生活困難な三無老人のみに重点的にサポートしていることを明らかにした。

この 10 年程の間、中国の都市部では新しく組織された社区居民委員会を中心にした高齢者向け支援サービスなどを充実してきたのは事実である。訪問サービス、指定場所でのサービス、巡回サービス等の方式により、高齢者に対し、生活介護、家事サービス、緊急救援及びその他の無料又は低単価でのサービス項目を提供することや、そして、高齢者に対する文化娯楽サービスや高齢者同士の結婚相手を紹介するサービス等も行い、「老年人文化娯楽・医療康復診療総合センター」(医療リハビリテーション)、「大衆浴場」、「食堂」、「老人病院」、「健康回復センター」などのような地域の高齢者に向けた施設、高齢者の居場所を作り出した。また、生き甲斐事業としては、高齢者を対象に生活、学習、スポーツ活動、老人大学の開催活動が活発に行なわれ、住民参加の助け合い活動の展開や企業団体との交流なども行われており、高齢者の在宅生活への支援を整備するのに努めている。社会的扶養への道を切り拓く方途として、「社区」のもつ意味が大きいであろう。家族による「親孝行」の実践の社会化への転換において、「社区」の高齢者福祉サービスの形態はますます重要な役割を果たしていくことであろう。

しかし、現段階において、「社区」はまだ解決しなければならない課題を多く抱えている。サービス提供の専門化の遅れ、資金の不足、社区職員の不足、公的サービスの不足、社区と施設の連携の問題、高齢者の階層によって生活支援は大きな違いが存在する。中国では、高齢者扶養を従来の家族的扶養のみに担っていくことにすでに限界が見えてきた。そして、空巢老人のよ

うな高齢者はますます増加する見込みである高齢者社会では、今後の課題として「福祉の社会化」社会的扶養への道を模索しなければならないと考える。

中国政府は、社区コミュニティづくりを推進する一方、地方に対する統一の行政指導や管理体制は実施していない。各地域の事情、地域性などによって地元政府の指示に従い、整備が進んでいる。したがって、福祉サービスの提供においても相違があり、空巢老人に対する支援内容・状況把握においても相違がある。今回得られた結果は、空巢老人に対する支援の現状はとして、中国都市部「社区」の全体を示すものではなく一般化することはできない。今後は、空巢老人に対する支援について範囲を拡げインタビューと行うとともに、全体の状況を知るためにも量的調査の実施など異なる方法を用いて検証する必要がある。